

Panasonic®

取扱説明書 簡易版

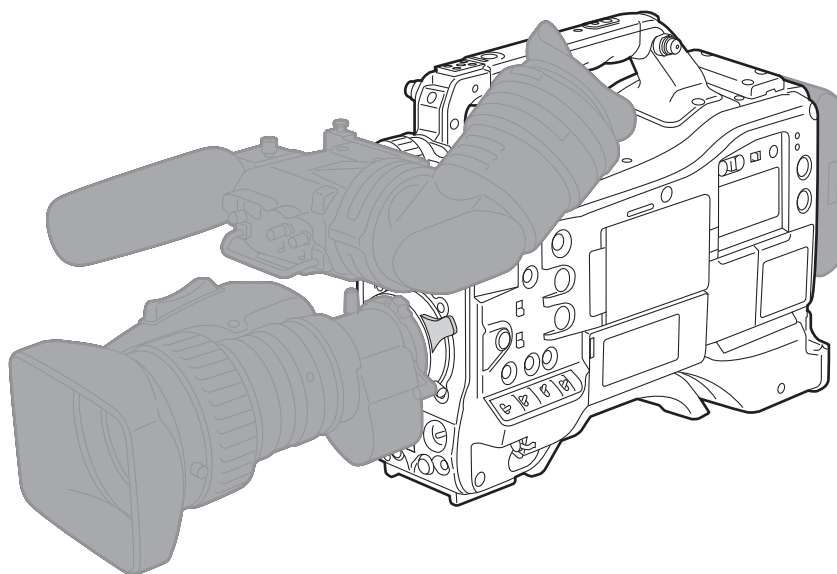
メモリーカードカメラレコーダー

品番 **AJ-CX4000G**

express



micro



HE Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

AVC ULTRA

HDMI™

SD™ V90
XC™ II

簡易版
取扱説明書

詳細は、当社Webサイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書を参照してください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

商標などについて

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI, High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Intel®, Pentium®, Celeron® および Intel® Core™ は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Mac および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone/iPad は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- WPA™、WPA2™ は Wi-Fi Alliance® の商標です。
- NDI® は NewTek, Inc. の登録商標です。
- MMC (Multi Media Card) は、Infineon Technologies AG 社の登録商標です。
- Java およびその他の Java を含む商標は、米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- UniSlot は池上通信機株式会社の登録商標です。
- The use of DCF Technologies is under license from Multi-Format, Inc.
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ライセンスについて

- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com/>) をご参照ください。
- 本製品でメモリーカードに記録して、エンドユーザーに営利目的でそのカードを配布する場合には、別途 MPEG-LA とのライセンス契約が必要です。ここで言うエンドユーザーとは、個人使用目的でコンテンツを扱う人や団体を指しています。

本製品に関するソフトウェア情報

- 1 本製品には、GNU General Public License (GPL)、ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
- 2 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- 3 This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>).
- 4 本製品には、OpenBSD License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- 5 This product includes PHP, freely available from <<http://www.php.net/>>.
- 6 This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- 7 本製品には、MOZILLA PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

これらのライセンスについて詳しくは、ライセンス条件を参照してください。

ライセンス条件は、次の方法で表示できます。

- [OTHERS] メニュー → [USB DEVICE] → [SERVICE MODE] → [YES] を選択します。
パーソナルコンピューターで認識された外付けドライブにある、「LICENSE.TXT」を選択してください。
- また、これらの内容（原文【英文】で記載しております）と、ソースコードの入手については、次の Web サイトを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容などについてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

GPL/LGPL その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本機に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

もくじ

安全上のご注意	4
ご使用前に	7
付属品	8
初めて電源を入れたとき	9
[AREA SETTINGS]	9
[TIME ZONE]	10
[CLOCK SETTING]	10
電源部、およびアクセサリ取り付け部	11
音声機能部（入力系）	12
音声機能部（出力系）	13
撮影・記録 / 再生機能部	14
撮影・記録（カメラ部）	14
撮影・記録 / 再生機能部（記録部）	16
メニュー操作部、およびサムネール操作部	17
タイムコード関連部	18
ワーニング / 状態表示部	19
表示窓内表示	20
メモリーカード残量、バッテリー残量、録音レベルの表示	20
外部 DC 電源の使用について	21
本機搭載ファームウェアのアップデート	22
定格	22
総合	22
保証とアフターサービス（よくお読みください）	23
修理を依頼される時	23

本書の見かた

■ 本書内のイラストについて

- 本書内の製品姿図、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

■ 表記について

- [] の語句は液晶モニターなどに表示される内容を示しています。
- 〈 〉 の語句はボタン名など本機の意匠文字を示しています。

■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを（00 ページ）のように示しています。

■ 用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードは、特に区別しない限り「SD カード」と記載しています。
- 「expressP2」ロゴがついたメモリーカードを「expressP2 カード」と記載しています。
- 「microP2」ロゴがついたメモリーカードを「microP2 カード」と記載しています。
- expressP2 カードと microP2 カードは特に区別しない限り、「P2 カード」とのみ記載しています。
- P2 カードと SD カードは特に区別しない限り、「メモリーカード」とのみ記載しています。
- 1 回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。


安全上のご注意


必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。


 **危険** 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

  してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーは…



- バッテリーの端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
- バッテリーは、分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
- バッテリーは、電子レンジやオーブンなどで加熱しない
- バッテリーは、炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）
⇒使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
⇒本機と接続検証済みのものを推奨します。
バッテリーに付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。
（接続検証済みバッテリーについては、取扱説明書（PDF/HTML）→「第3章 準備」→「電源の供給」を参照してください。）
⇒バッテリーは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。



- 充電するときは、必ずバッテリーメーカー指定の充電器を使用する
（指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。）
⇒充電器は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。





警告

異常、故障時には直ちに使用を中止する





- 異常があった時は、直ちにバッテリーを外す
〔内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき〕
（そのまま使用すると、火災の原因になります。）
⇒外部 DC 電源で使っている場合は、DC コードを外してください。
⇒お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 警告 (つづき)

	<p>■ DC コードのプラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、発熱による火災の原因になります。) ⇒傷んだプラグは使用しないでください。 (DC コードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p>
	<p>■ 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする (火災の原因になります。) ⇒雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。 ⇒機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。</p>
	<p>■ 付属品・オプションは、指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)</p>
	<p>■ 外部 DC 電源を使用するときは、電源電圧、および DC IN 端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する (誤って GND 端子に +12 V の電源を接続すると火災や故障の原因になります。) ⇒詳しくは 21 ページを参照してください。 (DC 電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p>
	<p>■ 外部 DC 電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する (不適切な外部 DC 電源を使用すると火災の原因になります。) ⇒詳しくは 21 ページを参照してください。 ⇒外部 DC 電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。 ⇒外部 DC 電源は、電気用品安全法のマーク  の付いたものをご使用ください。</p>
	<p>■ レンズの取り付け・締め付けは確実に (落下すると事故の原因になります。)</p>
	<p>■ DC コードが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱機具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災・ショートの原因になります。) ⇒DC コードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 (DC コードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p>
	<p>■ 乗り物を運転しながら使わない (事故の誘発につながります。) ⇒歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。</p>
	<p>■ ハンドルのアクセサリ取り付け穴を使い本機を吊り下げない (ハンドルが破損し、本機が落下してけがの原因になります。)</p>
	<p>■ メモリーカード (別売品) は、乳幼児の手の届く所に置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
	<p>■ 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない (本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど * の原因になります。) ⇒長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。 * 血流状態が悪い人 (血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている) や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。</p>
	<p>■ ワイヤレススロット以外のカバーは外さない (火災の原因になります。) ⇒点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。</p>
	<p>■ 分解や改造をしない (火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>

分解禁止

⚠ 注意

	<p>■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない (三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。) ⇒三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。</p>
	<p>■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない (レンズにより集光されると、内部部品が加熱・損傷し、火災、故障の原因となります。)</p>
	<p>■ イヤホン使用時は音量を上げすぎない (イヤホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)</p>
	<p>■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機やバッテリーなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーやDCコードを外す (火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 移動するとき、接続したコードに力が加わらないよう注意する (コードが傷つき、火災の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う (本機が出す電磁波などが、計器類に影響を及ぼす恐れがあります。)</p>
	<p>■ コードを引き回す場合、足など引っ掛けないよう固定したりカバーなどをする (足などを引っ掛けると、けがの原因になります。また、コードが傷つき、火災の原因にもなります。)</p>

■ 本製品 (付属品を含む) に表示の記号は以下を示しています。

<p>== DC (直流)</p> <p> 電源 ON</p> <p>⏻ スタンバイ</p>

ご使用前に

■ ご使用前には、必ず内蔵電池が消耗していないか確認し、日付 / 時刻を設定してください。

内蔵電池が消耗していると、本機の内蔵時計がリセットされます。そのため、クリップのメタデータが正しく記録されず、サムネイル画面で正しく表示されないことがあります。

ご使用前には、内蔵電池が消耗していないか確認してください。

また、日付 / 時刻を正しく設定してください。

タイムゾーン、日付 / 時刻の設定方法について、詳しくは [TIME ZONE] (10 ページ)、および [CLOCK SETTING] (10 ページ) を参照してください。

■ 油煙やほこりの多い場所では、本機を使わないでください。

微粒子などが製品内部に入ると、性能が劣化するおそれがあります。

特に舞台演出用のスモークなどを使用した環境では、お気をつけください。

■ メモリーカードについて

- 長時間ご使用になると本機表面やメモリーカードが多少熱くなりますが、故障ではありません。
- メモリーカードのラベルに記載されているメモリー容量は、次の容量の合計です。
 - 著作権を保護・管理するための容量
 - 本機やパーソナルコンピューターなどで通常のメモリーとして利用可能な容量
- メモリーカードに強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 次のような場合、メモリーカードのデータが壊れたり、消失したりすることがあります。
 - 電気ノイズや静電気
 - 本機やメモリーカードの故障
- メモリーカードにアクセス中は、次の動作はしないでください。
 - メモリーカードを取り出す
 - 本体の電源を切らずにバッテリーや外部 DC 電源を外す
 - 振動や衝撃を与える

■ ご不要になった充電式電池はリサイクルへ

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルにご協力ください。

不要になったバッテリーの廃棄は、バッテリーメーカーの指示に従ってください。



■ レーザー光線についての留意点

レーザー光線が MOS センサーに照射されると、MOS センサーを破壊するおそれがあります。

レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分お気をつけください。

■ 次の点にご留意ください。

- 重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機、およびメモリーカードの使用中に、万一これらの不具合により録画されなかった場合、録画内容の保証についてはご容赦ください。
- 記録の前にカレンダー（内蔵時計の日付 / 時刻）とタイムゾーンを設定、または設定の確認をしてください。記録したコンテンツの管理に影響します。

■ メモリーカードを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパーソナルコンピューター機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。

廃棄 / 譲渡するときは、次の方法でデータを完全に消去することをお勧めします。

- メモリーカード本体を物理的に破壊する
 - 市販のパーソナルコンピューター用データ消去ソフトウェアなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する
- メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。

■ ワイヤレス LAN をご使用時の留意点

- [DIRECT] で [5GHz] に設定しているときは、屋外での使用が禁止されています。([DIRECT] は iPhone/iPad や Android 端末から本機に直接アクセスするモードです。)

■ 液晶モニター

- 液晶モニターに、同じ映像や文字を長時間表示したままにしないでください。画面に映像の焼き付きが発生することがあります。数時間電源を切った状態にしておくと、元に戻ります。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部に露がつくことがあります。そのような場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- カメラが冷え切っている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- 液晶モニターのドットについては、有効画素の 99.99% 以上の高精度管理をしていますが、0.01% 以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 液晶保護シートを貼ると、見えにくくなったり、タッチしても認識しにくくなったりすることがあります。

付属品

■ GPS について

GPS (Global Position System) 衛星は米国国務省に管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。

屋内や樹木などの障害物に影響を受けない、上空がひらけた見通しの良い場所で測位を行ってください。

周囲の環境や時刻によって、測位までの時間が長くなったり、誤差が大きくなったりする場合があります。

■ 免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- 1 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- 2 お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- 3 お客様による本機の分解、修理または改造（ソフトウェア的なものを含む）が行われた場合
- 4 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が記録、および、表示できないことによる不便・損害・被害
- 5 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- 6 お客様による撮影映像（記録を含む）が何らかの理由（ネットワークのユーザー認証 OFF での使用を含む）により公となり、または目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
- 7 登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより、本商品を初期化する場合を含む）により、消失してしまうこと

■ ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- 1 本機を経由した情報の漏えいや流出
- 2 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- 3 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。これらの被害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターやタブレット、スマートフォンなどが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、認証を利用し、認証情報（ユーザー名、パスワードなど）は 8 文字以上かつ文字種類 3 種類以上の異なる文字列を使用するなどして、第三者に推測されないようにする。
- 認証情報（ユーザー名、パスワードなど）を第三者の目に触れないよう、適切に設定および保管をする。
- 認証情報（ユーザー名、パスワードなど）は、定期的に変更し、他のアカウント情報と同じものを使い回ししない。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

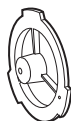
■ セキュリティについて

本機およびメモリーカードの盗難、遺失や放置、廃棄や譲渡時の取り扱いには十分お気をつけください。それらによる情報の漏えい、改ざん、消失については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

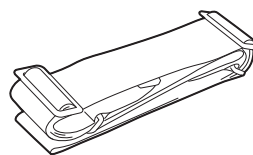
付属品

付属品の取り付け方など、詳しくは、取扱説明書（PDF/HTML）の「1 章 概要」→「付属品」から、該当の説明を参照してください。

マウントキャップ（製品本体にあらかじめ取り付けられています）
（11 ページ）



ショルダーベルト



NOTE

- ・包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

初めて電源を入れたとき

本機は、使用する地域が未設定の状態出荷されています。

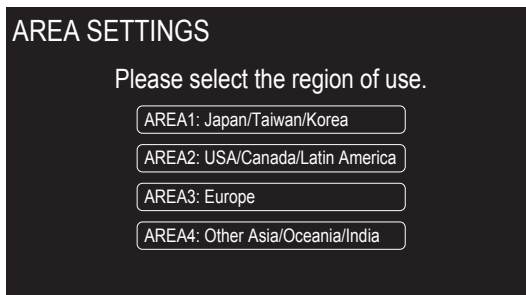
初めて電源を入れると、液晶モニターに [AREA SETTINGS] が表示されます。

案内に従って、[AREA SETTINGS]、[TIME ZONE]、[CLOCK SETTING] の順に設定してください。

- ここでは [AREA SETTINGS] を [AREA 2] に設定した前提に説明しています。
- 操作方法は、ジョグダイヤルボタンやカーソル操作ボタンで操作する方法と、液晶モニターをタッチして操作する方法があります。

[AREA SETTINGS]

ご使用の地域を設定します。



1 カメラ本体に、充電済みのバッテリーまたは外部 DC 電源を接続し、電源スイッチを $\langle | \rangle$ (入) にする。

[AREA SETTINGS] 画面が表示されます。

2 使用する地域を選択する。

[AREA 1] : 日本、台湾、韓国

[AREA 2] : アメリカ合衆国、カナダ、中南米地域

[AREA 3] : ヨーロッパ

[AREA 4] : アジア地域 (日本、台湾、韓国以外)、オセアニア地域、インド

3 確認メッセージが表示されたら [YES] を選択する。

手順 2 で選択した地域に応じて初期化されます。本機は、自動的に再起動します。

[AREA SETTINGS] の設定が完了すると、[TIME ZONE] 画面が表示されます。

NOTE

- 一度設定すると、次回以降の起動時には [AREA SETTINGS] 画面は表示されません。
- 使用する地域を変更するときは、[OPTION] メニュー → [AREA SETTINGS] で設定してください。

■ 各使用地域の設定内容

[RECORDING] → [REC MEDIA] は [microP2/SD] に設定されています。

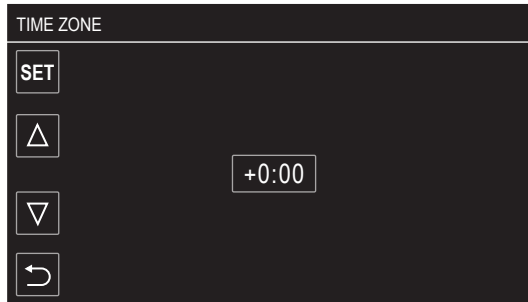
選択した地域によって、次の設定が異なります。

- [SYSTEM] メニュー → [FREQUENCY]
- [SYSTEM] メニュー → [REC FORMAT]
- [OTHERS] メニュー → [CLOCK] → [DATE FORMAT]
- [AUDIO] メニュー → [REC CH SETTINGS] → [HEAD ROOM]
- [AUDIO] メニュー → [INPUT SETTINGS] → [REAR LINE IN LEVEL]
- [AUDIO] メニュー → [OUTPUT SETTINGS] → [AUDIO OUT LEVEL]
- [OTHERS] メニュー → [LANGUAGE]

項目	[AREA 1]	[AREA 2]	[AREA 3]	[AREA 4]
[FREQUENCY]	[59.94Hz]	[59.94Hz]	[50.00Hz]	[50.00Hz]
[REC FORMAT]	[2160-59.94p/HEVC LongGOP 100M]	[2160-59.94p/HEVC LongGOP 100M]	[2160-50.00p/HEVC LongGOP 100M]	[2160-50.00p/HEVC LongGOP 100M]
[DATE FORMAT]	[Y-M-D]	[M-D-Y]	[D-M-Y]	[D-M-Y]
[HEAD ROOM]	[20dB]	[20dB]	[18dB]	[18dB]
[REAR LINE IN LEVEL]	[4dB]	[4dB]	[0dB]	[4dB]
[AUDIO OUT LEVEL]	[4dB]	[4dB]	[0dB]	[4dB]
[LANGUAGE]	[English] [日本語]	[English] [Français] [Español]	[English] [Français] [Deutsch] [Español] [Italiano]	[English] [Français] [Español]

[TIME ZONE]

グリニッジ標準時からの時差を設定します。



1 時差を設定する。

2 [SET] を選択する。

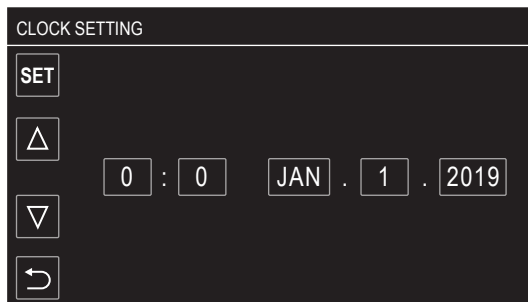
[TIME ZONE] の設定が完了すると、[CLOCK SETTING] 画面が表示されます。

NOTE

- ・タイムゾーンの設定に合わせて、カメラ本体の日時 / 時計の設定も変更されます。
- ・[OTHERS] メニュー → [CLOCK] → [TIME ZONE] でも設定できます。

[CLOCK SETTING]

年、月、日、時刻を設定します。



1 年、月、日、時刻を設定する。

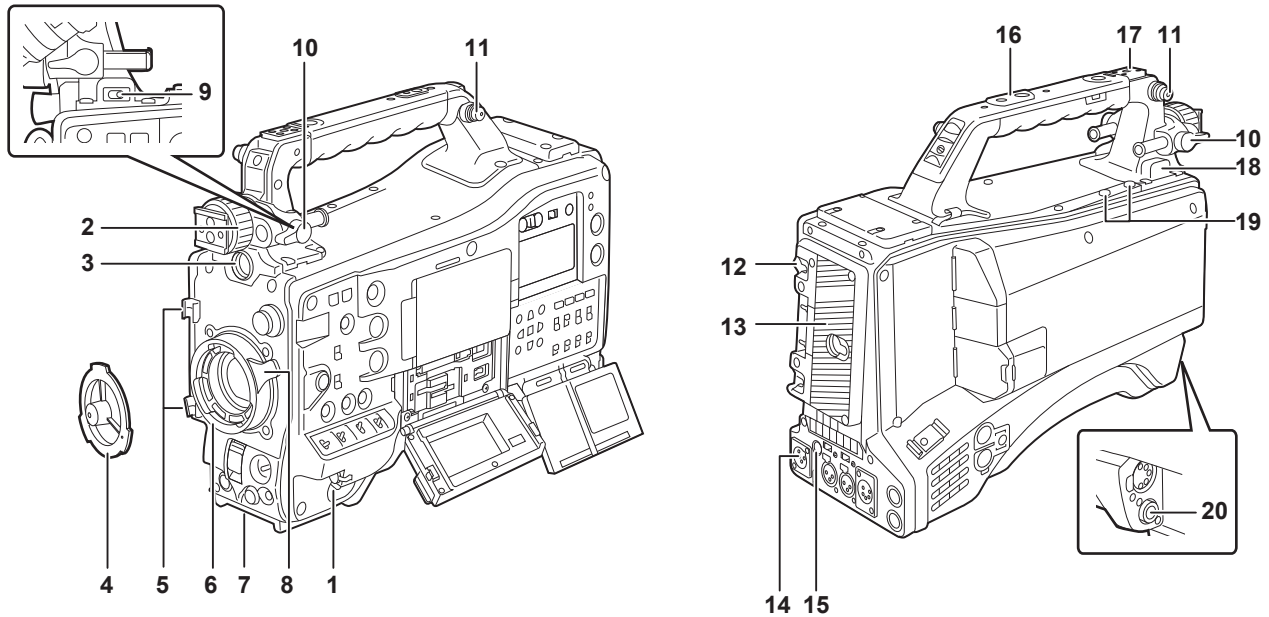
2 [SET] を選択する。

設定が完了すると、液晶モニターにカメラ映像画面が表示されます。

NOTE

- ・[OTHERS] メニュー → [CLOCK] → [CLOCK SETTING] でも設定できます。

電源部、およびアクセサリー取り付け部



1 電源スイッチ

電源の入 / スタンバイを切り替えます。

電源を入れるには、電源スイッチを〈 | 〉 (入) にします。電源をスタンバイ状態にするには、電源スイッチを〈 〉 (スタンバイ) にします。

NOTE

・電源スイッチが〈 〉 (スタンバイ) の位置でも、本機は、完全に主電源からは切り離されていません。

2 ビューファインダー左右位置固定リング

ビューファインダーの左右位置を調整する場合にゆるめ、ビューファインダーを左右にスライドさせて見やすい位置に調整します。調整後、〈LOCK〉方向に回してしっかり固定します。

3 〈VF〉 端子

ビューファインダー AG-CVF15G (別売品)、AJ-CVF50G (別売品) などを取り付けます。

4 マウントキャップ

レンズ固定レバーを押し上げて、キャップを取り外します。レンズを取り付けていないときは、キャップを取り付けます。

5 ケーブルホルダー

レンズやマイクのケーブルを固定します。

6 レンズマウント

2/3 型バヨネット式レンズを取り付けます。

7 三脚マウント

三脚アダプター SHAN-TM700 (別売品) を取り付けます。(底面)

8 レンズ固定レバー

レンズをレンズマウントに取り付けた後、レンズ固定レバーを締めてレンズを固定します。

9 〈LIGHT〉 スイッチ

〈LIGHT〉 端子に接続したビデオライトの入 / 切のしかたを選択します。

〈AUTO〉: ビデオライトの電源を入れておくと、本機の記録開始と同時にライトが点灯し、記録停止と同時にライトが消灯します。

〈MANUAL〉: ビデオライトの電源の入 / 切に従ってライトが点灯します。

10 ビューファインダー前後位置固定レバー

ビューファインダーの前後位置を調整する場合にゆるめ、ビューファインダーを前後にスライドさせて見やすい位置に調整します。調整後、〈LOCK〉方向に回してしっかり固定します。

11 ショルダーベルト取り付け部

付属のショルダーベルトを取り付けます。

12 バッテリー取り外しレバー

バッテリーをカメラ本体から取り外すときに使用します。

13 バッテリーホルダー

アンソンパワー製バッテリー (別売品) を取り付けます。

14 〈DC IN〉 端子

外部電源の入力用端子です。外部 DC 電源と接続します。

15 〈DC OUT〉 端子

DC12 V の電源出力端子です。最大 1.5 A の電流を取り出すことができます。

NOTE

・外部機器を接続する場合、極性を十分にご確認のうえ、接続してください。故障の原因になります。

16 アクセサリー取り付け穴

アクセサリーを取り付けます。

アクセサリー以外は取り付けしないでください。

音声機能部（入力系）

- 取り付け穴サイズ
 - 1/4-20 UNC (ねじ長さ 10 mm 以下)
 - 3/8-16 UNC (ねじ長さ 10 mm 以下)

17 ライトシュー

ビデオライトなどを取り付けます。

- 取り付け穴サイズ
 - 1/4-20 UNC (ねじ長さ 6 mm 以下)

18 〈LIGHT〉 端子

50 W 以下のビデオライトを接続します。

ビデオライトが点灯しているときには、バッテリー残量が急激に減少します。ビデオライトを使うときには、90 Wh 以上のバッテリーの使用をお勧めします。

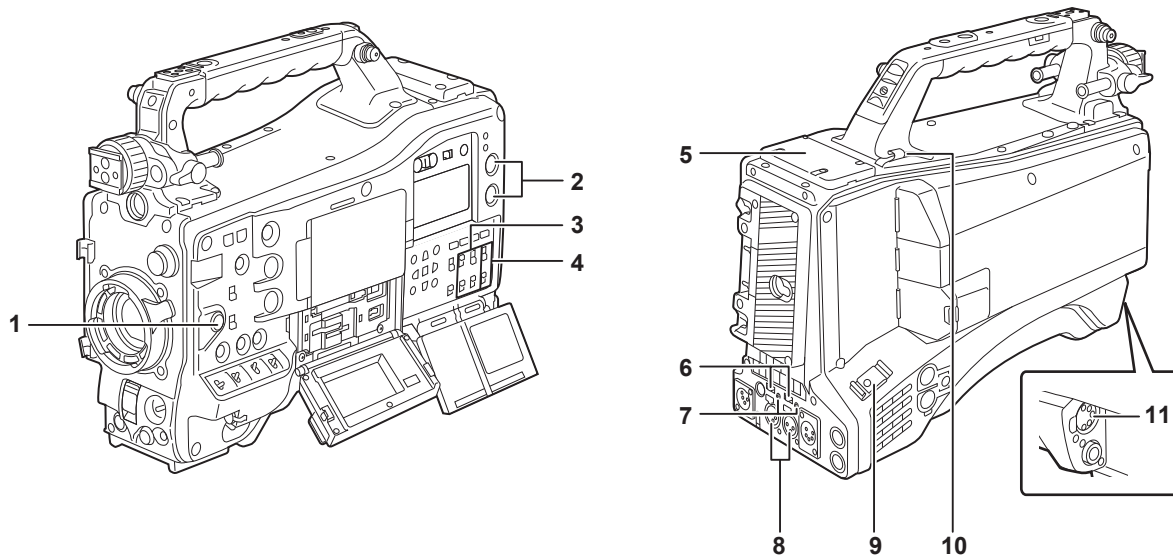
19 マイクホルダー取り付け部

マイクホルダー AJ-MH800G (別売品) を取り付けます。

20 〈LENS〉 端子

レンズの接続ケーブルをつなぎます。ご使用になるレンズについて、詳しくはレンズの取扱説明書を参照してください。

音声機能部（入力系）



1 〈F.AUDIO LEVEL〉 つまみ

〈AUDIO SELECT CH1/3〉 / 〈AUDIO SELECT CH2/4〉 スイッチが 〈MANU〉 に設定されているときに、[AUDIO] メニュー → [REC CH SETTINGS] → [VOL. SELECT] で選択した音声チャンネルの録音レベルを調整します。

- [AUDIO] メニュー → [REC CH SETTINGS] → [FRONT VOL. CH1] ~ [FRONT VOL. CH4] で、〈F.AUDIO LEVEL〉 つまみを有効にするかどうかを設定できます。

2 〈AUDIO LEVEL CH1/3〉 / 〈AUDIO LEVEL CH2/4〉 つまみ

〈AUDIO SELECT CH1/3〉 / 〈AUDIO SELECT CH2/4〉 スイッチが 〈MANU〉 に設定されているときに、音声チャンネルの録音レベルを調整します。

〈AUDIO LEVEL CH1/3〉 つまみ：音声チャンネル 1 または音声チャンネル 3 の録音レベルを調整します。

〈AUDIO LEVEL CH2/4〉 つまみ：音声チャンネル 2 または音声チャンネル 4 の録音レベルを調整します。

- つまみで調整する音声チャンネルは、[AUDIO] メニュー → [REC CH SETTINGS] → [VOL. SELECT] で選択してください。
- つまみにはロック機構がついています。つまみを押し込みながら、回して調整してください。

3 〈AUDIO IN CH1〉 / 〈AUDIO IN CH2〉 / 〈AUDIO IN CH3〉 / 〈AUDIO IN CH4〉 スイッチ

音声チャンネル 1 ~ 音声チャンネル 4 に入力する音声信号を選択します。

〈FRONT〉：〈MIC IN〉 端子に接続したマイクの音声信号を入力します。

〈W.L.〉：ワイヤレスマイクレシーバーの音声信号を入力します。

〈REAR〉：〈AUDIO IN CH1/3〉 端子、〈AUDIO IN CH2/4〉 端子に接続したオーディオ機器からの音声信号を入力します。

NOTE

- ステレオマイク AJ-MC900G (別売品) を使用する場合、〈AUDIO IN CH1〉 スイッチと 〈AUDIO IN CH2〉 スイッチ (または 〈AUDIO IN CH3〉 スイッチと 〈AUDIO IN CH4〉 スイッチ) の両方を 〈FRONT〉 にしてください。
L CH は音声チャンネル 1 または音声チャンネル 3 に、R CH は音声チャンネル 2 または音声チャンネル 4 にそれぞれ記録されます。

4 〈AUDIO SELECT CH1/3〉 / 〈AUDIO SELECT CH2/4〉 スイッチ

調整する音声チャンネルは、[AUDIO] メニュー → [REC CH SETTINGS] → [VOL. SELECT] で選択します。

〈AUDIO SELECT CH1/3〉 スイッチ：音声チャンネル 1 または音声チャンネル 3 の録音レベルの調整方法を 〈AUTO〉 / 〈MANU〉 (自動 / 手動) で切り替えます。

〈AUDIO SELECT CH2/4〉 スイッチ：音声チャンネル 2 または音声チャンネル 4 の録音レベルの調整方法を 〈AUTO〉 / 〈MANU〉 (自動 / 手動) で切り替えます。

5 ワイヤレスマイクスロット

UniSlot 方式のワイヤレスマイクレシーバー (別売品) を取り付けることができます。

6 〈LINE〉 / 〈MIC〉 切り替えスイッチ

〈AUDIO IN CH1/3〉 / 〈AUDIO IN CH2/4〉 端子から入力した音声信号を切り替えます。

〈LINE〉：ライン入力するオーディオ機器からの音声信号を入力します。

〈MIC〉：マイクからの音声信号を入力します。

7 マイク入力電源切り替えスイッチ

〈AUDIO IN CH1/3〉 / 〈AUDIO IN CH2/4〉 端子に接続されたマイクに電源の供給を入 / 切します。

〈+48V〉：マイクに +48 V 電源を供給します。

〈OFF〉：マイクに電源を供給しません。

NOTE

・マイク入力 〈+48V〉 に設定し、〈AUDIO IN CH1/3〉 / 〈AUDIO IN CH2/4〉 端子にマイクを接続していない場合、低周波のノイズが入ることがあります。マイク接続時には問題ありません。

・[AUDIO] メニュー → [INPUT SETTINGS] → [REAR MIC POWER] → [ON] に設定されていない場合、スイッチの位置にかかわらず電源を供給しません。

8 〈AUDIO IN CH1/3〉 / 〈AUDIO IN CH2/4〉 端子

オーディオ機器、またはマイクを接続します。

〈AUDIO IN CH1/3〉 端子：音声チャンネル 1 および音声チャンネル 3 に音声信号を入力します。

〈AUDIO IN CH2/4〉 端子：音声チャンネル 2 および音声チャンネル 4 に音声信号を入力します。

9 ケーブルホルダー

HDMI ケーブルなどを固定します。

10 ケーブルホルダー

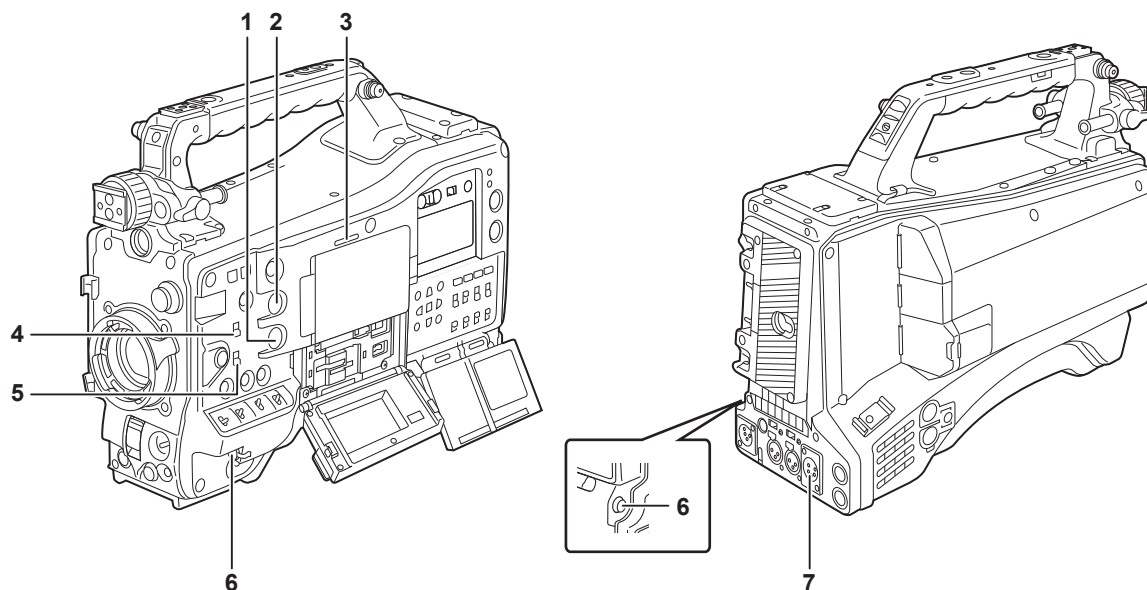
ライトやマイクのケーブルを固定します。

11 〈MIC IN〉 端子

外部マイク（別売品）を接続します。

・ファントムマイクを使用するときは、[AUDIO] メニュー → [INPUT SETTINGS] → [FRONT MIC POWER] → [ON] に設定してください。[ON] に設定しているときにマイクを接続していない場合、低周波のノイズが入ることがあります。マイク接続時には問題ありません。

音声機能部（出力系）



1 〈MONITOR〉 つまみ

再生中、記録中、記録待機中に、モニター音声の音量を調整します。

2 〈ALARM〉 つまみ

内蔵スピーカー、イヤホンからのアラームの音量を調節します。

最小の位置にすると、アラームは聞こえません。

3 内蔵スピーカー

記録中は EE 音声を、再生中は再生音声を出力します。

〈WARNING〉 ランプやワーニング表示の点滅・点灯にあわせてアラーム音を出力します。

〈PHONES〉 端子にイヤホンを接続すると、内蔵スピーカーからの音声は自動的に消えます。

4 〈MONITOR SELECT〉 スイッチ

音声チャンネル切り替えスイッチに連動して、内蔵スピーカー、イヤホン、および 〈AUDIO OUT〉 端子からの音声出力を選択します。

〈CH1/3〉：音声チャンネル 1 または音声チャンネル 3 の音声信号を出力します。

〈ST〉：音声チャンネル 1 と音声チャンネル 2 のステレオ音声信号、または音声チャンネル 3 と音声チャンネル 4 のステレオ音声信号が出力されます。[AUDIO] メニュー → [OUTPUT SETTINGS] → [MONITOR SELECT] → [MIX] で、MIX 信号にします。

〈CH2/4〉：音声チャンネル 2 または音声チャンネル 4 の音声信号を出力します。

〈MONITOR SELECT〉スイッチ	音声チャンネル切り替えスイッチ	
	〈CH1/2〉	〈CH3/4〉
〈CH1/3〉	音声チャンネル 1	音声チャンネル 3
〈ST〉	音声チャンネル 1 と 2 のステレオ *	音声チャンネル 3 と 4 のステレオ *
〈CH2/4〉	音声チャンネル 2	音声チャンネル 4

* [AUDIO] メニュー → [OUTPUT SETTINGS] → [MONITOR SELECT] で [STEREO] と [MIX] を切り替えます。

5 音声チャンネル切り替えスイッチ

内蔵スピーカー、イヤホン、および〈AUDIO OUT〉端子に出力される音声チャンネルを切り替えます。

〈CH1/2〉：音声チャンネル 1 および音声チャンネル 2 の音声信号を出力します。

〈CH3/4〉：音声チャンネル 3 および音声チャンネル 4 の音声信号を出力します。

6 〈PHONES〉端子

オーディオモニター用イヤホンの、ステレオ接続のミニジャック端子です。

フロント側とリア側の両方とも、同じ音声を出力します。

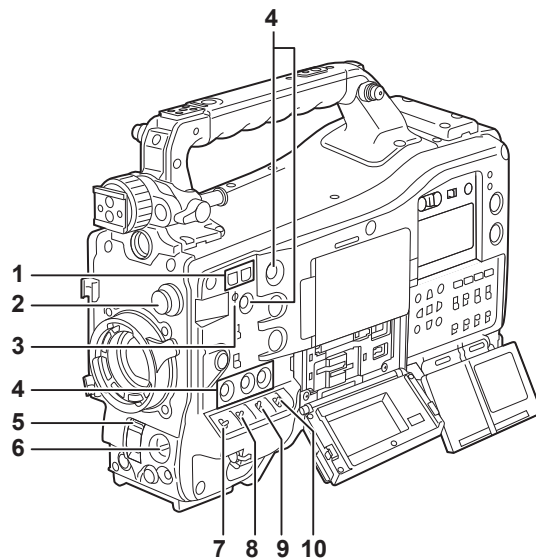
7 〈AUDIO OUT〉端子

音声チャンネル 1 ～音声チャンネル 4 に記録された音声信号を出力します。

- 出力する音声信号は、〈MONITOR SELECT〉スイッチで切り替えます。

撮影・記録 / 再生機能部

撮影・記録 (カメラ部)



1 〈SYNCHRO SCAN〉ボタン

シンクロスキャンモードの場合、シンクロスキャンのシャッタースピードを調整します。

〈-〉ボタンを押すと、シャッタースピードが遅くなります。〈+〉ボタンを押すと、シャッタースピードが速くなります。

パーソナルコンピュータのモニターを撮影する場合などでは、ビューファインダー内の横バーノイズが少なくなる位置に調整してください。

2 〈CC FILTER〉 / 〈ND FILTER〉つまみ

被写体の照度や色温度に合わせてフィルターを選択します。

〈CC FILTER〉つまみ (大径) の位置	設定	内容
〈A〉	〈3200 K〉	色温度を 3200 K に設定します。
〈B〉	〈4300 K〉	色温度を 4300 K に設定します。
〈C〉	〈5600 K〉	色温度を 5600 K に設定します。
〈D〉	〈6300 K〉	色温度を 6300 K に設定します。

〈ND FILTER〉つまみ (小径) の位置	設定	内容
〈1〉	〈CLEAR〉	ND フィルターを使用しません。
〈2〉	〈1/4ND〉	MOS センサーに入る光の量を 1/4 にします。
〈3〉	〈1/16ND〉	MOS センサーに入る光の量を 1/16 にします。
〈4〉	〈1/64ND〉	MOS センサーに入る光の量を 1/64 にします。

撮影条件に合わせて、次の表を参考に〈CC FILTER〉つまみと〈ND FILTER〉つまみを切り替えてください。

撮影条件	〈CC FILTER〉つまみ	〈ND FILTER〉つまみ
日の出、日没、スタジオ内	〈A〉 (〈3200 K〉)	〈1〉 (〈CLEAR〉)
晴天の屋外	〈B〉 (〈4300 K〉) または 〈C〉 (〈5600 K〉) または 〈D〉 (〈6300 K〉)	〈2〉 (〈1/4ND〉) または 〈3〉 (〈1/16ND〉)
曇天・雨天の屋外	〈D〉 (〈6300 K〉)	〈1〉 (〈CLEAR〉) または 〈2〉 (〈1/4ND〉)
雪景色、高い山、海辺など、澄み切っていて明るい景色	〈B〉 (〈4300 K〉) または 〈C〉 (〈5600 K〉) または 〈D〉 (〈6300 K〉)	〈3〉 (〈1/16ND〉) または 〈4〉 (〈1/64ND〉)

3 焦点マーク〈Φ〉

MOS センサーの焦点位置を示します。

被写体からの焦点距離を正確に測る場合は、このマークを基準としてください。

4 USER ボタン

ユーザーが選択した機能を〈USER 1〉～〈USER 5〉のボタンに割り当てることができます。USER ボタンを押すことで、割り当てられた機能が動作します。

5 〈SHUTTER〉スイッチ

電子シャッターの切り替えスイッチです。

〈OFF〉：電子シャッターは動作しません。

〈ON〉：電子シャッターが動作します。

〈SEL〉：シャッタースピードを変更できます。

跳ね返しスイッチになっています。〈SEL〉側に押すたびに、シャッタースピードが変化します。

6 〈AUTO W/B BAL〉スイッチ

〈AWB〉：ホワイトバランスを自動調整します。側面の〈WHITE BAL〉スイッチを〈A〉、または〈B〉にして、スイッチを操作すると、数秒で調整され、調整値がメモリーに記録されます。

〈WHITE BAL〉スイッチが〈PRST〉のときは、動作しません。

〈ABB〉：ブラックバランスを自動調整します。

[CAMERA] メニュー → [SW MODE] → [SHD, ABB SW CTL] → [ON] に設定すると、ブラックシェーディングの自動調整機能をこのスイッチに割り当てることができます。

●自動調整を行っているときにスイッチの操作を繰り返すと、自動調整を中止します。調整値は、自動調整を行う前の値になります。

7 〈MARKER SEL〉 / 〈MODE CHECK〉スイッチ

マーカーの選択と、本機の各種撮影状態の確認などができる跳ね返しスイッチです。

〈MKR〉：〈MKR〉側に倒すごとに、ビューファインダーのマーカーの表示が、[A] マーカー、[B] マーカー、表示なしの順に切り替わります。

電源を入れたときは、電源を切る直前の状態で表示されます。

〈MCK〉：〈MCK〉側に倒すごとに、STATUS 画面、! LED 画面、FUNCTION 画面、AUDIO 画面、CAC 画面、SWITCH 画面、NETWORK 画面、カメラ映像画面の順に表示が切り替わります。カメラの出力信号には影響ありません。表示は約 5 秒で消えます。スイッチを〈MCK〉側に倒し続けると、選択中の画面を継続して表示します。

8 〈GAIN〉スイッチ

撮影時の照明の状態に合わせて、映像アンプのゲインを切り替えます。

●〈L〉 / 〈M〉 / 〈H〉のゲイン値は、あらかじめ、[SCENE FILE] メニュー → [LOW SETTING] / [MID SETTING] / [HIGH SETTING] → [MASTER GAIN] で設定します。

●工場出荷値は、L=0 dB、M=6 dB、H=12 dB です。

9 〈OUTPUT〉 / 〈AUTO KNEE〉スイッチ

カメラ部からメモリー記録部、ビューファインダー、ビデオモニターへ出力する映像信号を選択します。

〈CAM〉 / 〈ON〉：カメラで撮影している映像が出力され、オートニー機能が動作します。

オートニー機能の代わりにダイナミックレンジストレッチャー (DRS) 機能の割り当てもできます。

〈CAM〉 / 〈OFF〉：カメラで撮影している映像が出力され、オートニー機能は動作しません。

ニーポイントは [SCENE FILE] メニュー → [KNEE SETTING] → [KNEE MASTER POINT] で設定されたレベルに固定されます。

〈BARS〉 / 〈OFF〉：カラーバー信号が出力されます。オートニー機能は動作しません。

カラーバー信号は、[OTHERS] メニュー → [COLOR BARS] → [COLOR BARS TYPE] で 2 種類の中から選択できます。

NOTE

●工場出荷時は、〈OUTPUT〉 / 〈AUTO KNEE〉 選択スイッチを〈BARS〉にした場合、音声チャンネル 1 ～音声チャンネル 4 すべてにテスト信号が出力されます。テスト信号を出力するかどうかは、[OTHERS] メニュー → [COLOR BARS] → [TEST TONE] で変更できます。

●オートニー機能

高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやけてしまいます。このようなときにオートニー機能を動作させると、背景がくっきりと再現できます。

オートニー機能は次のような場面の撮影に効果を発揮します。

- 晴天時に日陰の人物を撮るとき
- 車内、または屋内の人物と、窓越しの屋外風景を同時に撮影するとき
- コントラストが強い場面を撮るとき

10 〈WHITE BAL〉スイッチ

ホワイトバランスの調整方法を切り替えます。

〈PRST〉：ホワイトバランスを調整する時間がないときなどは、この位置に設定します。

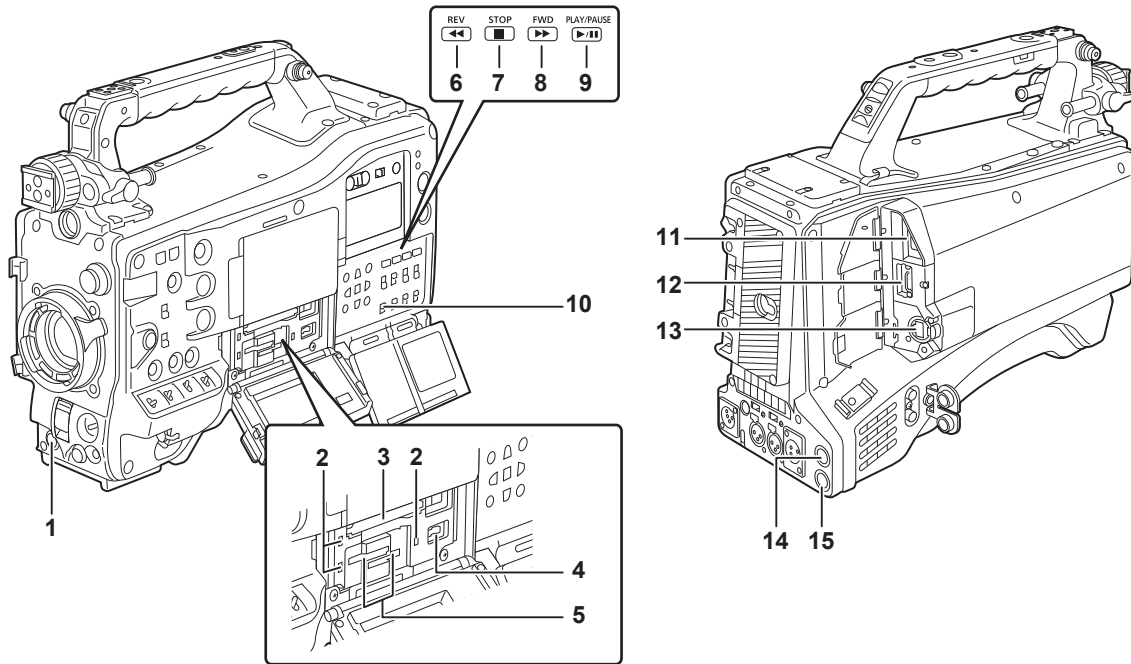
●工場出荷値は、3200 K です。

●[CAMERA] メニュー → [WHITE BALANCE MODE] → [W. BAL VAR] で任意の色温度に変更できます。

〈A〉 / 〈B〉：〈AUTO W/B BAL〉スイッチを〈AWB〉側に倒すとホワイトバランスが自動的に調整され、調整値がメモリー A、またはメモリー B に記憶されます。

[CAMERA] メニュー → [WHITE BALANCE MODE] → [ATW] で、自動追尾方式のオートトラッキングホワイトバランス (ATW) 機能を〈WHITE BAL〉スイッチに割り当てることができます。

撮影・記録 / 再生機能部 (記録部)



1 〈REC〉ボタン

〈REC〉ボタンを押すと記録が始まります。再度押すと記録が停止します。取り付けるレンズの〈VTR〉ボタンと同じ動作をします。

2 カードアクセスランプ 1/ カードアクセスランプ 2/ カードアクセスランプ 3

メモリーカードの記録、再生のアクセス状況を表示します。

3 カードスロット 1

expressP2 カード専用のカードスロットです。

4 〈USB DEVICE〉端子

USB デバイスモードの場合、パーソナルコンピューターと USB タイプ C ケーブルで接続してデータ転送ができます。この場合、記録再生操作やカメラ撮影はできません。

5 カードスロット 2/ カードスロット 3

microP2 カードや SD カードのカードスロットです。

6 〈REV (◀◀)〉ボタン

再生中に押すと高速逆再生になります。一時停止中に押すと、クリップの先頭から再生します。

7 〈STOP (■)〉ボタン

再生を停止するときに押します。

8 〈FWD (▶▶)〉ボタン

再生中に押すと高速再生になります。再生中に一時停止をしているときに押すと、次クリップの先頭から再生します。

9 〈PLAY/PAUSE (▶||)〉ボタン

クリップを再生します。再生中に押すと、再生を一時停止します。

10 〈SDI OUT 2 CHARACTER〉スイッチ

〈SDI OUT2〉端子から出力される映像へのキャラクターの重畳を制御します。
[VIDEO OUT/LCD/VF] メニュー → [HDMI OUT] → [SIGNAL SEL] → [SDI OUT2] に設定しているときは、〈HDMI〉端子から出力される映像へのキャラクターの重畳も制御します。

〈ON〉：キャラクターを重畳します。

〈OFF〉：キャラクターを重畳しません。

11 〈USB2.0 HOST〉端子

本機に対応したワイヤレスモジュール (別売品) を取り付けると、ワイヤレス LAN で接続ができます。また、USB ケーブルと、iPhone/iPad や Android 端末を接続すると、USB テザリングでネットワーク接続できます。

12 〈HDMI〉端子

映像の出力端子です。
[VIDEO OUT/LCD/VF] メニュー → [HDMI OUT] → [SIGNAL SEL] で出力信号を切り替えることができます。
[SDI OUT1 (2160p)]：〈SDI OUT1〉端子からの出力信号の設定に従います。
[SDI OUT2]：〈SDI OUT2〉端子からの出力信号の設定に従います。
キャラクターの重畳の設定も、[VIDEO OUT/LCD/VF] メニュー → [HDMI OUT] → [SIGNAL SEL] で切り替えることができます。

13 〈LAN〉端子

100BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T の LAN ケーブルを接続します。カテゴリー 7 の LAN ケーブルをご使用ください。

14 〈SDI OUT1〉 端子

SDI 専用の出力端子です。

[VIDEO OUT/LCD/VF] メニュー → [SDI OUT1] → [OUT FORMAT] で出力信号を選択します。

キャラクターの重畳は、[VIDEO OUT/LCD/VF] メニュー → [SDI OUT1] → [SDI OUT CHAR] で設定します。

15 〈SDI OUT2〉 端子

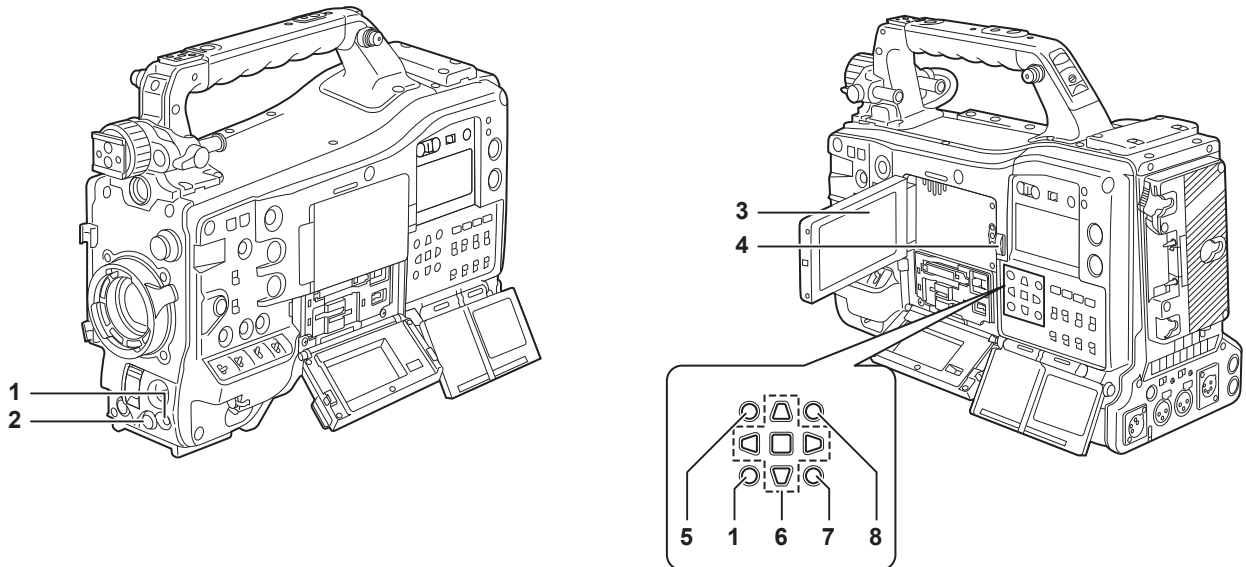
モニター用映像の出力端子です。

[VIDEO OUT/LCD/VF] メニュー → [SDI OUT2] → [OUT FORMAT] で出力信号を選択します。

キャラクターの重畳は、〈SDI OUT1〉 端子とは独立して、〈SDI OUT 2 CHARACTER〉 スイッチで設定できます。

NOTE

- ・〈SDI OUT1〉 / 〈SDI OUT2〉 端子の接続には 5C-FB 以上のケーブルをご使用ください。

メニュー操作部、およびサムネール操作部**1 〈MENU〉 ボタン**

〈MENU〉 ボタンを押すと、ビューファインダー画面にメニューが表示されます。再度押すと、もとの映像に戻ります。

〈MENU〉 ボタンは前面部と側面部の 2 つあり、どちらも同じ動作をします。

2 ジョグダイヤルボタン

メニューを開いている状態で、メニューの移動、選択や設定をします。

3 液晶モニター

カメラ映像や再生映像を表示します。また、サムネールやステータスも表示できます。

- このモニターに表示される映像品位と、本機に実際に記録 / 出力される映像品位は異なります。

特に次の場合はお気をつけください。

- [SCENE FILE] メニュー → [GAMMA MODE SEL] → [HLG] に設定しているとき

- 電源を入れた状態でバッテリーを外したり、外部 DC 電源プラグを抜いたりすると、液晶画面にしばらく残像が見えることがあります。故障ではありません。そのまま放置しておくで消えてなくなります。

- 低温時に残像が増えて見えることがあります。故障ではありません。

4 〈OPEN〉 ボタン

液晶モニターを開くときに使用します。

5 〈THUMB NAIL〉 ボタン

ボタンを押すと、液晶モニターおよびビューファインダー画面にサムネール画面を表示します。再度押すと、通常の表示に戻ります。

6 カーソル操作ボタン

タイムコードやユーザービットの数値の設定、およびサムネールの選択やメニューの操作に使用します。

メニューを表示しているときは、項目の選択や設定の変更にも使用します。

4 つの三角形のボタンでカーソルを操作し、中心の〈SET〉 ボタンで決定します。

7 〈EXIT〉 ボタン

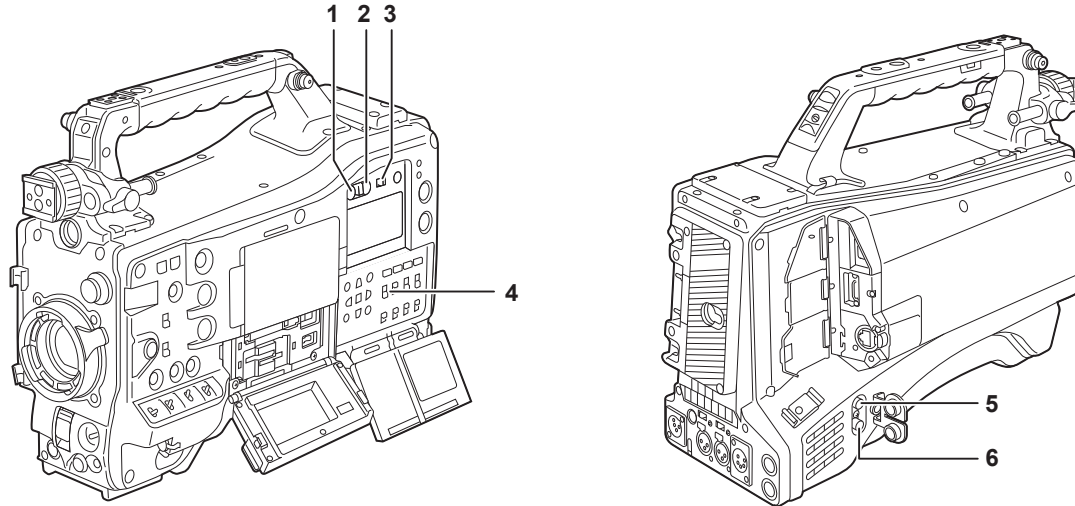
メニューや設定画面を表示中、表示を前の状態に戻します。

8 〈SHIFT〉 ボタン

他のボタンと同時に押して使用します。

- 〈SHIFT〉 ボタンを押しながら 〈MENU〉 ボタンを押すと、[OPTION] メニューが表示されます。

タイムコード関連部



1 〈HOLD〉 ボタン

押した瞬間に、カウンター表示部のタイムデータ表示が保持されます。ただし、タイムコードジェネレーターは歩進し続けます。再度押すと、保持状態が解除されます。
撮影したシーンのタイムコード、またはカウンター表示のカウンターデータを知りたいときなどに使用します。

2 〈RESET〉 ボタン

カウンター表示のカウンターデータを [00:00:00:00] にリセットします。
リアルタイムデータを工場出荷値に戻すには、〈TCG〉スイッチを〈SET〉にして、〈RESET〉ボタンを押します。タイムコードデータとユーザーズビットデータがそれぞれ 0 にリセットされます。

3 〈DISPLAY〉 スイッチ

〈DISPLAY〉スイッチと〈TCG〉スイッチの設定位置に応じて、カウンターデータ、タイムコード、ユーザーズビットを表示窓のカウンター部に表示させます。

〈UB〉：ユーザーズビットを表示します。

〈TC〉：タイムコードを表示します。

〈COUNTER〉：カウンターデータを表示します。

4 〈TCG〉 スイッチ

内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードを設定します。

〈F-RUN〉：メモリーカード記録の操作に関係なく、連続してタイムコードを歩進させるときに使用します。タイムコードを時刻に合わせるときや、タイムコードを外部ロックさせるときなどに、この位置にします。

〈SET〉：タイムコードやユーザーズビットを設定するときを使用します。

〈R-RUN〉：記録中のみタイムコードを歩進させるときに使用します。つなぎ撮りをしたメモリーカードのタイムコードは、連続して記録されます。

5 〈GENLOCK IN〉 端子

カメラ部にゲンロックをかけるとき、またはタイムコードを外部ロックするときに基準信号を入力します。

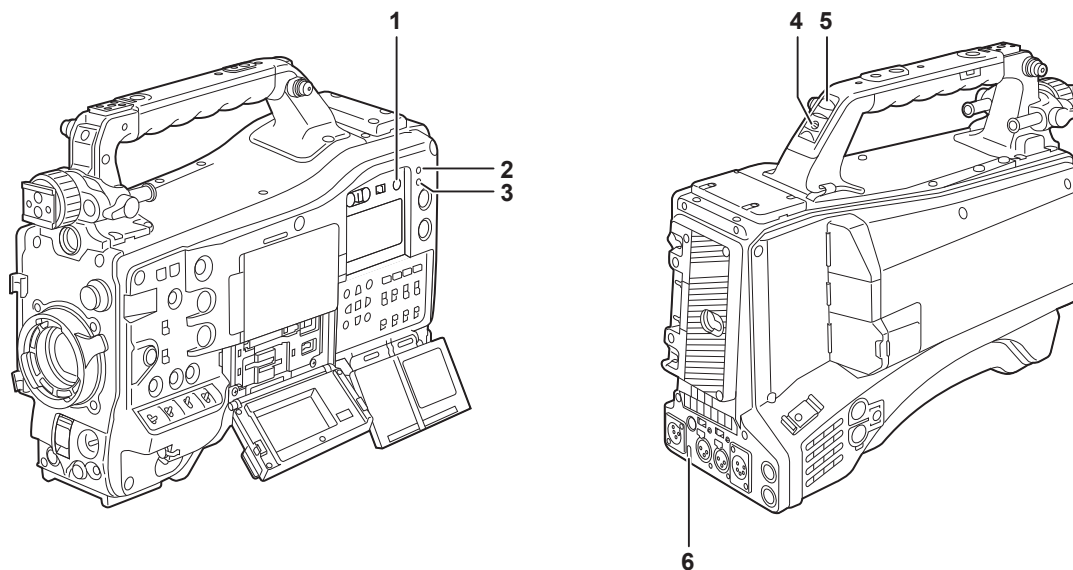
6 〈TC IN/OUT〉 端子

外部機器と接続して、タイムコードを入力/出力します。

タイムコードを外部機器とロックするときに、基準となるタイムコードを入力します。

入力および出力は、[RECORDING] メニュー → [TC/UB] → [TC IN/OUT SEL] で設定します。

ワーニング / 状態表示部

**1 〈BRIGHT〉 ボタン**

表示窓の明るさをコントロールします。

〈BRIGHT〉 ボタンを押すごとに明るさが 2 段階で切り替わります。

電源を入れたときは、前回の設定にかかわらず、暗い設定で表示します。

2 〈WARNING〉 ランプ

メモリー記録部に何らかの異常が発生すると、点滅または点灯します。

3 〈STREAMING〉 ランプ

本機がストリーミング配信中のときにオレンジ色に点灯します。

4 バックタリースイッチ

バックタリーランプとリアタリーランプの動作をコントロールします。

〈ON〉：バックタリーランプとリアタリーランプが動作します。

〈OFF〉：バックタリーランプとリアタリーランプが動作しません。

5 バックタリーランプ

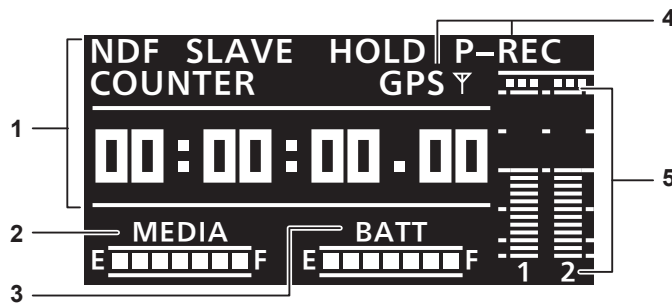
バックタリースイッチを 〈ON〉 にすると、ビューファインダーのフロントタリーランプと同じ動作をします。

6 リアタリーランプ

バックタリースイッチを 〈ON〉 にすると、バックタリーランプと同様に動作します。

表示窓内表示

メモリーカード残量、バッテリー残量、録音レベルの表示



1 タイムコードに関する表示

[NDF]	タイムコードがノンドロップフレーム時に表示します。
[DF]	タイムコードがドロップフレーム時に表示します。
[SLAVE]	タイムコードの外部ロック時に表示します。
[HOLD]	タイムコードジェネレーター/リーダー値をホールドした時に表示します。
[COUNTER] / [CLIP]	<p>〈DISPLAY〉スイッチで〈COUNTER〉が選択されているときに、再生時とそれ以外で次のように表示します。</p> <p>再生時：[CLIP] と表示します。</p> <p>再生時以外：[RECORDING] メニュー → [REC COUNTER] の設定によって表示内容が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [TOTAL]：[COUNTER] と表示します。 • [CLIP]：[CLIP] と表示します。
[TCG]	〈DISPLAY〉スイッチで〈TC〉が選択され、TC ジェネレーター値 (h : min : sec : frm) が表示されているときに表示します。
[TCR]	〈DISPLAY〉スイッチで〈TC〉が選択され、TC リーダー値が表示されているときに表示します。
[UBG]	〈DISPLAY〉スイッチで〈UB〉が選択され、UB ジェネレーター値が表示されているときに表示します。
[UBR]	〈DISPLAY〉スイッチで〈UB〉が選択され、UB リーダー値が表示されているときに表示します。
タイムカウンター表示	タイムコード/ユーザーズビット/カウンターデータを表示します。

2 メモリーカード残量表示バー

メモリーカード残量を 7 個のセグメントで表示します。

1 個のセグメントが示すメモリーカード残量の時間は、約 3 分です。約 3 分ごとに、セグメントが 1 個ずつ消えます。

3 バッテリー残量表示バー

バッテリー残量を 7 個のセグメントで表示します。

デジタル表示 (% 表示) のバッテリーを使用した場合、バッテリー残量が 70% 以上のときに [F] の位置までセグメントが 7 個点灯します。バッテリー残量が 70% 未満より 10% 減るごとに、セグメントが 1 個ずつ消えます。

4 モード表示

[P-REC]	[RECORDING] メニュー → [PRE REC] → [ON] に設定されているときに表示します。
[i-REC]	[RECORDING] メニュー → [REC FUNCTION] → [REC MODE] → [INTERVAL] に設定されているときに表示します。
[GPS Ȳ]	[OTHERS] メニュー → [GPS] → [ON] に設定しているときに、[GPS] を表示します。測位が完了するとȲが点灯します。

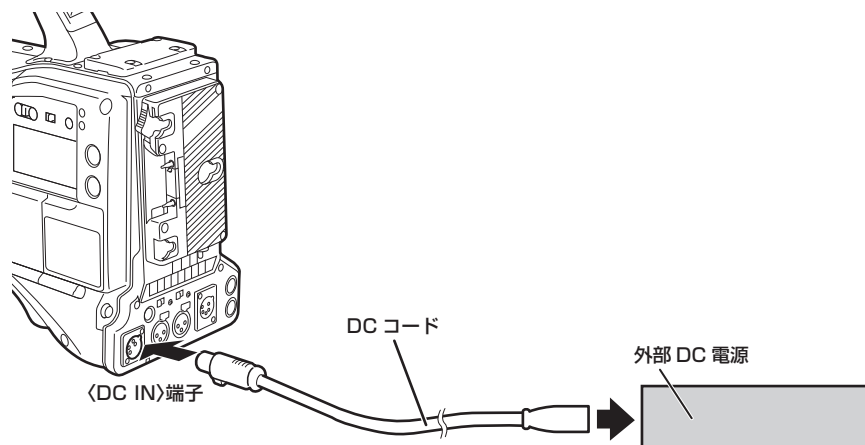
5 音声チャンネルレベルメーター

音声チャンネル切り替えスイッチを〈CH1/2〉に設定すると、該当する音声チャンネルを示す [1] と [2] が表示され、音声チャンネル 1 と音声チャンネル 2 の録音レベルが表示されます。

音声チャンネル切り替えスイッチを〈CH3/4〉に設定すると、該当する音声チャンネルを示す [3] と [4] が表示され、音声チャンネル 3 と音声チャンネル 4 の録音レベルが表示されます。

外部 DC 電源の使用について

本機の電源には、バッテリー、または外部 DC 電源が使用できます。



- 1 本機の〈DC IN〉端子と外部 DC 電源を接続する。
- 2 外部 DC 電源の電源スイッチを入れる（外部 DC 電源に電源スイッチがある場合）。
- 3 本機の電源スイッチを〈 | 〉（入）にする。

■ 外部 DC 電源について

外部 DC 電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。

外部 DC 電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕があるものをお選びください。

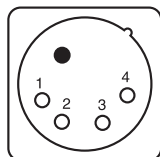
接続機器の合計電流は、次の式で求めることができます。

総消費電力 ÷ 電圧

本機の電源が入ったときには、突入電流が発生します。電源が入ったときに電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。本機および本機の電源が入ったときと連動して電源が入る接続機器（レンズ、ワイヤレスマイクレシーバーなど）の、総消費電力の 2 倍以上の電力を確保できる、外部 DC 電源のご使用をお勧めします。DC コードは AWG18（公称断面積 0.824 mm²）以上の芯線の 2 芯シールドコードをご使用ください。

- 外部 DC 電源の DC 出力端子と、本機の〈DC IN〉端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤って GND 端子に +12 V の電源を接続すると、火災や故障の原因となります。

DC IN



1	GND
2	NC
3	NC
4	+12 V

パナソニック品番：K1AA104H0038
メーカー品番：HA16RX-4P (SW1) (76) (ヒロセ電機)

NOTE

- バッテリーと外部 DC 電源の両方を接続した場合、外部 DC 電源からの電源供給が優先されます。外部 DC 電源の使用中は、バッテリーの着脱もできません。
- 外部 DC 電源を使用するときは、必ず外部 DC 電源の電源スイッチを入れた後、本機の電源スイッチを〈 | 〉（入）にしてください。逆の操作を行った場合、外部 DC 電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。
- 〈DC IN〉端子からの電源供給時は、ライト回路が動作しません。アントンパワー製バッテリープレートからの電源供給時のみライト回路を使用できます。
- 〈DC IN〉端子にバッテリーを接続する場合は、[OTHERS] メニュー → [BATTERY] → [DC IN SOURCE] → [BATTERY] に設定し、続けて、[OTHERS] メニュー → [BATTERY] → [DC IN BATTERY] で電圧を設定してください。ただし、この場合、残量表示機能があるバッテリーでも % 表示はできません。
- レンズケーブルの取り付けや取り外しを行うときは、本機の電源を切ってから行ってください。

本機搭載ファームウェアのアップデート

[OTHERS] メニュー → [INFORMATION] → [VERSION] で本機のファームウェアバージョンを確認のうえ、次の Web サイトのファームウェアに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

NOTE

- ・アップデートはダウンロードしたファイルを、メモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデートファイルを格納したメモリーカードをカードスロット 2 に入れ、[OTHERS] メニュー → [INFORMATION] → [UPDATE] を選択してください。アップデート方法については次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>
- ・ファームウェアのアップデート中は電源を切らないでください。ファームウェアの書き換えに失敗して、起動しなくなることがあります。

定格

定格の詳しい内容については、当社 Web サイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書 (PDF/HTML) を参照してください。

総合

電源 DC === 12 V (11.0 V - 17.0 V)
消費電力 32 W (本体のみ、2160-59.94p/HEVC LongGOP 100M 通常記録状態、LCD ON) 72 W (すべてのアクセサリを接続し、各出力端子の最大供給時の最大電力)

は安全項目です。

動作周囲温度	0 °C ~ 40 °C
動作周囲湿度	10% ~ 85% (相対湿度)
保存温度	-20 °C ~ 60 °C
質量	約 3.4 kg (本体のみ)
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	本体のみ 143 mm × 267 mm × 348 mm (突起部分を除く)

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申し付けください。
- この商品は出張修理させていただきますので、修理に際し、本書をご提示ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
 - (ニ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
 - (ホ) 一般使用環境以外(例えば、強震、高温などの場所)に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 取扱説明書に指定する摩耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご提示がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費および高所の取外し、取付けに要する実費

- 故障、その他により正常に記録ができなかった場合のデータ補修・記録内容の補償、及び営業上の機会損失等の損害に対する補償は致しかねます。また本機を修理した場合においても同様です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

製造番号をご記入ください。

- ※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますのでご了承ください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※This warranty is valid only in Japan.

保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書(本書に付属)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 8 年

当社は、このメモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- 保守・点検(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除し、メモリーカードを外して、ご依頼ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認のうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AJ-CX4000G
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

Panasonic

出張修理

品番	AJ-CX4000G
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
* お買い上げ日	年 月 日
* お客様	ご住所 お名前 電話 () -
* 販売店	住所・販売店名 電話 () -

メモリーカードカメラレコーダー 保証書

本書はお買い上げの日から右記期間中故障が発生した場合には
(無料修理規定)の記載内容で無料修理を行うことをお約束する
ものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は(無料
修理規定)に記載しております。お客様の個人情報に関する
お問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細
は(無料修理規定)をご参照ください。

パナソニック コネクト株式会社
パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社
〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 TEL 0120-872-233

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

パナソニック コネクト株式会社
パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2019-2024